

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫していること等
環境整備・体制整備				
1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	○			十分な広さのスペースがあります。
2 職員の配置数は適切であるか		○		最低人員基準は満たしていますが、従業員不足を感じており、現在ハローワーク等で求人をしています。
3 事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		活動スペースには段差がないですが、トイレの入り口に段差があります。工事の予定はないですが、段差で転ぶことがないように、目立たせる等の工夫を行っています。
業務内容				
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			個別支援計画の見直し時だけでなく、毎日の振り返りや支援記録の作成時に職員間で行っています。
5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか		○		現在のところ1年に1回行うガイドラインに基づく保護者チェック表による調査を行っております。今後、頻度を増やす等、検討していきます。
6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ガイドラインに基づいた自己評価を行い、事業所ホームページにて公表しています。
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員会を設置していません。今後設置するかは未定です。
8 職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	○			新入職員に対し研修期間を設け、本社主催の初期認定研修への参加を促しています。また、外部研修への積極的参加も認めています。
適切な支援の提供				
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の意向や本人の意見、相談支援事業所の意見も踏まえて設定しています。
10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		使用できている利用者としていない利用者がいます。今後ツールの活用を積極的に行ってきたいです。
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で相談し、準備から実施に至るまで確認作業をしながら実施しています。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化したほうがよい場合、そうでない場合を見極め、実施出来ています。
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			各週に設定したテーマ毎の学習を実施しており、その上でテーマに沿ったイベントの考案や、支援の方法を工夫しています。
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動をメインとしていますが、本人がそれを拒否した場合や難しいと職員が判断した場合は、個別での活動も実施しています。
15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		実施していますが、まだ十分でないと感じます。より細かく、具体的に実施できるよう、十分な時間の確保等を行います。
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	○			その日の生徒の様子で気になったことや気付いたことを職員間で共有が出来ています。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の業務内容を細かく記録する様式があり、職員間で共有が出来ようになっています。

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個別支援計画の見直しを3ヶ月に1回の頻度で実施しており、その都度職員間での会議を実施しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		利用生徒が楽しく過ごせるような環境作りに努めており、その中で日常動作の訓練や学習的な支援を実施しています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議に参加後、記録を作成し、その他職員にも周知、情報の共有を行っています。
21	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認など）、連絡調整（送迎時対応、トラブル発生連絡）を適切に行っているか	○		生徒が通っている学校と連絡調整をし、連絡会を実施しています。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		—	現在、医療的ケアが必要な生徒の受け入れを行っていない為、実施に至っておりません。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		—	現在、未就学からの児童の受け入れがありません。今後受け入れる場合には保護者の同意を得たうえで、保育所、児童発達支援事業所等の連携を図りたいと思います。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		—	該当する生徒の利用がまだない為、実施に至っておりません。
25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修に積極的に参加を行っています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	公園や外出イベントにおいて、交流する機会がありますが、当施設から障害のない子どもと活動する機会の提供は行っておりません。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		各地域の放課後等デイサービス間の情報交換会や連絡会に積極的に参加しています。
28	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		利用日のお迎え時に、サービスの提供記録を用意し、その日の支援や子どもの様子を保護者へ直接伝えています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングは実施していません。今後実施に向けて検討をしていきます。
保護者への説明責任等				
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に内容の読み上げを行い、説明しています。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談に対する支援を実施しており、記録に残して職員間の周知、情報の共有も行っていきます。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者同士の顔合わせの機会は提供していません。保護者によっては係わりを避けたい、という意見もあるため、慎重に検討をしていきます。
33	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情対応の担当を決めており、入り口付近に掲示しています。また、苦情があった際には迅速な対応を行うことが出来ています。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		イベントの情報、活動テーマの事前公開を毎月発行し、配布しています。
35	個人情報に十分注意しているか	○		指導員室には生徒が入らないよう注意しています。また、個人の記録や書類に関しても、必ず鍵付きの保管場所を使用しています。

36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		なるべくわかりやすく、間違っって伝わらないよう配慮しています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	広報誌等でイベントの参加は自由としていますが、いまだに応募がありません。
非常時等の対応				
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか	○		緊急時の避難先の共有等、実施しています。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回以上、災害を想定した避難訓練を、生徒も含めて実施しています。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	○		毎月虐待のセルフチェックを実施しています。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		職員間で常に生徒の様子を確認するとともに、身体拘束が必要な状況がある、と事業所で判断した場合、個別支援計画に必要な状況・対応方法を明記して保護者の同意を事前に得るようにしています。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者の自己申告書にて確認を行い、細心の注意を払っていますが、医師の指示書のまで確認まで行っていないです。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書、事故報告書の様式を作成し、誰でも作成できる環境を整えています。また、報告が上がった場合も全職員での情報の共有を実施しています。